

第 41 回理事会議事録

1. 日時 : 2017年6月23日(金)午後6時30分～9時30分
2. 場所 : 東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者:【理事10名】 細田博之(午後7時45分退席)、鳩山勝郎、浅越ことみ、大橋正幸(午後7時15分よりSkypeにて参加)、ロバート・ゲラー、齋藤陽子、寺本直志、清水康裕、山田和彦、吉田正
【欠席2名】 伊藤直彦、橋本公二
【監事1名】 成田秀則(久保公人監事は欠席)
【事務局3名】 清水映樹事務局長代行、大政哲人管理部長、鈴木正人競技会事業部長代行
【オブザーバー1名】 宮内宏顧問弁護士
(理事現在数:12名、定足数7名、本人出席10名)

4. 議事の経過及び結果

鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

第1号議案 第40回理事会議事録の承認について
議事録案を一部修正の上承認した。

第2号議案 各委員会及び事業部報告

1. 企画委員会

山田企画委員長より5月12日開催の企画委員会について報告があった。6月16日にも企画委員会を開催したが、委員長を始め多数の委員が欠席のため、次回理事会にまとめて報告する。

消費税増税への対応については実施が2019年秋のため、来年度の検討課題とした。

今年度実施のナショナルディレクター試験に、ナショナルディレクター資格更新者も受験を求めることに決定したと報告があった。

来年度予算についての業務執行会議を12月1日に企画委員会との合同会議として開催したいと提案があった。

2. センター協議委員会

山田センター協議委員長より5月15日開催のセンター協議委員会、6月14日開催のセンター協議検討会について報告があった。

入門講座の受講者を紹介した方に優待券を進呈するキャンペーンはまだ予算枠が残っており、今後の申請増加を期待する。

体験教室の宣伝方法について Facebook や Twitter などの活用に関してプラス効果を認めつつも実施にあたっての課題の指摘もあり、今後も引き続き SNS の活用を検討してゆく。

競技会の活性化を進めるために連盟主催のナショナル、リジョナル、特に参加者減が著しい地域対抗関東予選、藤山杯の試合の格を維持しつつ参加者を増やす方法を検討している。

センター主催セクショナルゲームへの参加者は順調に増加しているが、センター側からさらに増加を目指す方策の提案を受けて連盟からのサポートを検討する。

サロンにとどまる層に対して競技会への誘導を目的として先生が生徒 3 人を集めてチーム戦を行う「サロン交流会」の企画が提案され、事務局で具体化に向けて検討することになった。

センター主催競技会の告知期間について、受付開始は時期を統一するが競技会の名称や内容について会報掲載前に告知したいと提案があった。これまではセンター間の合意のもと会報発行に合わせて公表、受付開始としており、今後首都圏センター連絡会において検討を行い、その結論を待って連盟としても対応する。宮内弁護士よりセンター間の合意の有無とその内容について確認すべきと発言があった。

3. 代表選抜委員会

APBF 選手権で世界選手権への出場資格を獲得したシニアチームについて、以下のメンバーを日本代表とすることを承認した。

山田彰彦、大野京子、井野正行、今倉正史、山田和彦、大政哲人

NPC 三浦裕明

同チームから提出された要望について検討した結果、8月8日出発の航空運賃を航空運賃助成の基準額とし、8月8日から10日までの3泊分の宿泊費を助成対象に加えることを承認した。

APBF シニア第2チームのメンバー3名が開催直前に出場を辞退した件について検討を行い、新たに追加した早坂雅之、杉野すみ子、田中裕子の3名を日本代表として承認した。出場辞退の3名については代表にふさわしくない理由があるとして、当理事会では2018年5月までに行われる日本代表選抜試合に招待しないことに決定した。

中谷忠義氏より提出された質問状について検討を行った。

ウイメン代表チーム NPC の吉田理事より、ラウンド中のプレイヤーへの発言はラウンド終了後にスコア入力に間違いがあった点を指摘したもので、これに関しては NPC の権限の範囲内である。日本語で会話した点についてはスコア記入ミスを指摘したものだが、ラウンド終了後にすべきであったとディレクターから注意があった。ペア戦参加については事実であるが

職務を放棄したわけではない。国際交流担当としてペア戦の場で多数のプレイヤーと情報交換ができて大変有効であり、NPCとしての役割に反しているとは思わないと発言があった。

欠席した橋本代表選抜委員長よりキャプテンの役割について規則に不十分な点があり、今後規則の整備を行う考えがある旨の文書の提出があった。検討の結果、ペア戦出場に関してはチームのラインアップ決定と登録の権限をプレイヤーに委譲したと考えられ、これはNPCの裁量の範囲内と考える。またプレイ中での発言については、ラウンド途中の日本語の発言を除きNPCの職務を遂行したと判断した。

4. 競技委員会

寺本競技委員長より5月17日開催の競技委員会について報告があった。ペア戦のマスターポイント増加に伴うチーム戦のマスターポイント削減について齋藤、山田理事より理事会の意向を説明したところ、マスターポイントワーキンググループより修正案のチーム戦のレッドポイントに1.1を乗じた新しい修正案の提案があった。検討の結果基本方針を承認し、1月1日施行を目指して次回8月の理事会で最終案を決定することになった。

5. ルール委員会

清水ルール委員長より5月18日および6月5日開催のルール委員会について報告があった。5月18日の時点では9月30日施行の予定でスケジュールをたてて翻訳作業も一度終了していたが、WBFより2018年4月1日まで施行を延長する許可が出たため、施行日を2018年3月31日(土)とした。新規則の解説は余裕を持って会報に掲載する。

6. 普及事業部

清水事務局長代行より以下の説明および報告があった。

- ・普及関連キャンペーン
- ・橋之介くらぶ開催報告
- ・広報関連

8月15～24日リヨン（フランス）で開催される第5回世界ユースオープン選手権に出場する以下のメンバーを承認した。

日野雄之、山田良一、今給黎英嗣、小林皐輝、Derek Neo、園池実方

NPC 三浦裕明

APBF選手権でヤングスター部門は2018年8月に蘇州（中国）で開催される世界ユースチーム選手権の出場権を獲得したと報告があった。ヤングスターの年齢制限は2018年の制限が適用となるため今回のメンバーで出場できるわけではないと説明があった。

7. 競技会事業部

鈴木事業部長代行より競技会事業部活動状況および資格獲得者の報告があった。

8. 国際交流事業部

大政国際交流事業部長より JOC 加盟および助成について以下の団体を訪問し、説明を受けた内容について報告があった。

- ・文部科学省スポーツ庁政策課
- ・独立行政法人日本スポーツ振興センター本部 (JSC)
- ・日本オリンピック委員会 (JOC)

JOC に加盟するかどうかで助成についても大きく変わってくるため JOC 準加盟または承認団体を目指したいと説明があり、これを了承した。

2018 年は 4 月にコックスバザール (バングラデシュ) で第 3 回アジアカップが開催される。カテゴリーは今年の APBF 大会と同様。

8 月にインドネシアでアジア競技大会が開催される。種目はメンズチーム／ペア、ウィメンチーム／ペア、ミクストチーム／ペア、スーパーミクストチームと発表があったが、正式な決定は 8 月頃となる見込み。

9. 法人・管理部

5 月末時点の予算決算対照表、比較財務諸表の提出があった。

第 3 号議案 その他の議案

1. 公認クラブ勘定

各センターからの公認クラブ勘定については順調に納入されていると報告があった。

2. Helgemo-Helness

吉田理事よりモナコチームでプレイしている Helgemo-Helness に対してノルウェー当局から脱税の摘発があったと報告があった。

3. 次回理事会開催について

次回理事会は 2017 年 8 月 25 日 (金) 午後 6 時 30 分に開催する。

当日配布書類：第 2 号議案 「2017 年世界選手権日本代表の指名について」

「ユース報告」

「JOC 加盟と助成申請の件」

「APBF 選手権キャプテン報告」

平成 29 年 6 月 23 日 (2017 年)

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 41 回理事会

代表理事 細田博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 成田 秀則